

令和4年度 第1回 学術研究プラットフォーム運営・連携本部会議 議事要旨

日 時： 令和4年3月30日 10:00-12:15

場 所： Web 会議システムにより開催

議 事：

1. 議事要旨確認

喜連川本部長から、資料2に基づき説明があり、内容に意見があれば会議終了までにご意見いただくこととし了承された。

2. 令和4年度 整備推進委員会報告

合田委員より、資料3.1、3.2に基づき、今年度から設立された整備推進委員会の立ち位置の説明、NIIの活動内容説明や委員の所属機関における活動事例、今回は北見工業大学や広島大学から紹介があった旨説明があった。次の議論の後了承された。

3. ネットワーク事業・運営委員会報告

漆谷委員より、資料4に基づきネットワーク事業及び運営委員会について報告があり、関連して以下の質疑応答があった。

- ・ 欧州回線についてアップデートがありましたら共有いただきたい。
 - 国際情勢などを鑑み、現状の経路を維持するのは難しいと考え米国経由想定で調達を進めている。
- ・ 現在の欧州回線は安定しているのか。
 - 現状は安定している。
- ・ 欧州との接続をよりレイテンシの少ない回線で接続する計画については、ロシアを避けた経路の議論や北極海経路の議論が欧州側と進んでいる。
 - 主導しているのはどこか。
 - フィンランドの企業が中心となって進めていて、日本も出資していると伺っている。
- ・ 北海道へのDC誘致活動に絡み、陸揚げ等を苫小牧など検討いただけるとありがたい。
 - 陸揚げ先についても議論中で、検討する。
- ・ NTTが進めているIOWNのようなダイレクトな光パスを使ったテラビット級の高速伝送について、SINETの将来構想的にどのように考えているか伺いたい。
 - 技術的には現状でも対応が可能ではあるが、需要は限られるためどこが機材を用意するかは要検討になる。また、遅延時間についても現状で既にかな

り短くなっており、そうは変わらないと想定している。IOWN との接続に係る検討も今後進める予定。

4. DX・クラウド推進事業・運営委員会報告

資料 5.1 に基づき、合田委員より DX・クラウド推進事業について、資料 5.2 から 5.4 に基づき同運営委員会について報告があり、関連して以下の議論があった。

- ・ 価格比較の図について、国内企業のものはあるか。
 - 国内の情報はまだ用意しきれていないが、電気代や海外製部品のライセンス価格の変動による影響がありそうなことがわかっているので、今後まとめたい。

5. セキュリティ事業・運営委員会報告

高倉委員より、資料 6.1 に基づきセキュリティ事業について、南委員より資料 6.2 から 6.4 に基づき運営委員会について報告があった。

- ・ センターの事業をその場の対応で終わるものとせず、学問とするために必要な行動をとって欲しい。

6. 情報セキュリティポリシー推進事業・推進委員会報告

中村委員より、資料 7.1 に基づき情報セキュリティポリシー推進事業について、資料 7.2 に基づき推進委員会について報告があった。

- ・ 個人や小グループが独自に作った研究データはサンプル規程集の対象外になっているように思われるがいかがか。
 - 今後大学とも連携して検討をしていく課題かと考えている。

7. 研究データ基盤運営委員会活動報告

山地委員より、資料 8 に基づき、研究データ基盤運営委員会及び作業部会について報告があった。

- ・ 前議題の意見は、研究データのオーナーシップがどこにあるかの議論と見受けたがいかがか。
 - その通りで、現時点では個人や小さなグループの研究データのセキュリティ管理は自己対応とされている状況がある。
- ・ この問題は上位層で議論が続けられている。

- ・ 機関ストレージとしては例えばパブリッククラウド等であっても利用可能な
のか。
 - S3 互換であれば対応可能である。

8. 学術認証推進事業・運営委員会報告

坂根学術認証推進室長より、資料 9.1 に基づき、学術認証推進事業について、資料 9.2 に基づき学術認証運営委員会について報告があった。

9. 2022 年度 学術情報基盤オープンフォーラム活動報告

佐藤学術基盤課長より、資料 10 に基づき、学術情報基盤オープンフォーラム活動について報告があった。

10. その他

下條委員、喜連川本部長より離任の挨拶があった。また藤澤文科省学術基盤整備室長、安浦委員より本部長離任への挨拶があった。

次回開催日は、後日事務局から開催候補日について案内する旨連絡があった。

以上